

水産物の市況について(令和元年12月及び令和2年1月)

—東京都中央卸売市場における令和元年12月(令和元年11月21日～12月20日集計)の市況と、
令和2年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、全体としては横ばい、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、やや弱含みに推移しました。

II 令和2年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれるものの、例年より入荷量が多いことから、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、最需要期を過ぎたことからかなり減少すると見込まれ、卸売価格は、弱含みと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

不漁が半年続き、12月から獲れだしたことから、入荷量は横ばいと見込まれるものの、卸売価格は、入荷が少なく高止まりしていたことから、やや弱含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、やや減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、水揚げが低調なことから横ばいと見込まれ、卸売価格は、高値・横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、最需要期を過ぎたことから減少すると見込まれるものの、卸売価格は、正月明けで消費が落ち込む時期であることから、やや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	35	1,232	34	1,141	26	1,176
前年	35	1,270	34	1,116	34	1,063

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	409	91	84	97
さけ・ます(平均)	942	105	79	93
(ぎんざけ塩蔵品)	888	97	80	91
(あきさけ塩蔵品)	827	100	106	114
(ときさけ塩蔵品)	1,489	110	93	115
(べにざけ塩蔵品)	1,560	111	96	117
(さけ類冷凍品)	803	95	69	82
さば(生鮮品)	521	96	121	124
するめいか(平均)	867	86	102	137
(生鮮品)	835	83	82	129
(冷凍品)	1,001	98	135	164
あじ(生鮮品)	777	123	139	138
まぐろ(冷凍品)	1,756	107	101	108
(めばち冷凍品)	1,320	100	109	113
(きはだ冷凍品)	803	109	61	76
(くろまぐろ冷凍品)	3,086	96	88	86
(みなみまぐろ冷凍品)	1,992	101	99	98

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:11月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年～30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモン

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612